

2. 指標設定

成果指標	指標名	被災箇所の早期復旧	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-4-1)目標達成のために重要な施策となっている			
活動指標	指標	a	復旧率	b	c	d		
	数値	目標	100%	目標	目標	目標		

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
被災箇所の早期復旧		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a	復旧率	—	—	100.0 %
				100.0 %
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
事業申請時に確約書の提出を徹底しているが、事業完了後の分担金の未納が発生している
対応（改善点等）
未納者に対して、補助事業(中山間地域直接支払制度、戸別補償制度等)の停止処分検討

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

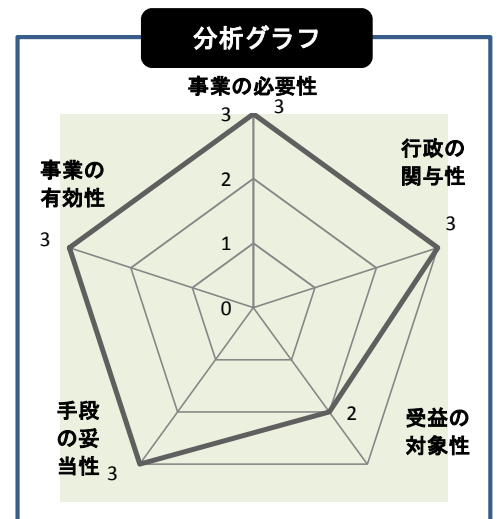
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		965,132	110,478	41,640	272,295
財源内訳	国費				
	県費	1,028,710	91,645	49,920	218,236
	市債				
	その他	36,885	5,249	1,922	24,248
	一般財源	△ 100,463	13,584	△ 10,202	29,811
うち経常					
事業費に係る人件費		9,339	9,386	9,635	7,310

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
異常気象時の降雨等により発生する、農地農業用施設の災害復旧事業に対応するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 災害発生から早期の復旧が必要であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 受益者全額負担での普及は困難であるため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 対象者が農地所有者及び耕作者であるため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 早期復旧のための適切な対応策である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 早期に復旧工事が実施されたと判断できる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	早期復旧を目指すとともに、分担金の未納金については早期に解決を図ること